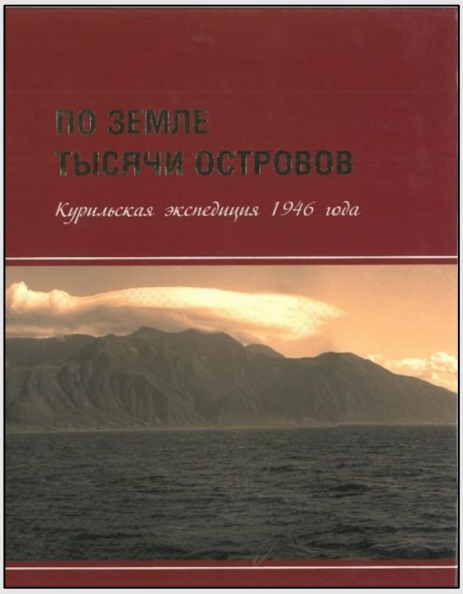
ソ連占領下の北方領土　日ロ混住時代の記憶

2015年、ロシア・サハリン州で一冊の写真集が出版されました。

「千の島を巡る 1946年のクリル探険」と題したその写真集には、これまで見たことのない、ソ連占領下の北方領土で、ロシア人と一緒に暮らす日本人の姿が写し出されていました。

写真は、2010年にアムール地方調査会の古文書を調査していたサハリン州の歴史学者が偶然発見したものです。

ソ連軍上陸後、カメラはソ連兵に奪われ、引揚げ時の写真の持ち出しは禁じられていたため、当時の暮らしぶりを知るのに貴重な資料です。



書 籍 名：「千の島を巡る1946年のクリル探検」
出 版 年：2015年（サハリン州で出版）
発 行 者：サハリン州古文書局、サハリン州国家歴史古文書館、全国　市民組織「ロシア地理学会」沿岸地方支部、アムール地方調査会
発行部数：500部（図書館や研究者へ配布）
収録写真：全233点（国後60 色丹43 択捉89 得撫16 幌莚25）

＜北方四島における日ロ混住時代＞

1945. 8	ソ連軍、9月5日までに北方四島を占領
. 9	各島の守備隊長布告により役場、警察等公的機関の解散、軍政開始 選挙により日本人の部落会長を選出
	島民の自力脱出
.12	国境警備隊入島　取締強化　自力脱出困難に
1946. 2	南サハリン州設置、北方四島をソ連編入　財産国有化　日本円廃止
. 4	民政局（署）設置、軍政から民政へ
	ロシア人移住政策が本格化、民間人が続々入島
.12	米ソ引揚協定成立
1947. 7	北方四島の日本人第一陣が樺太経由で引揚、函館到着
1948.10	北方四島から最後の引揚